

プロジェクト委員と前回決定した交流戦に参加するチーム代表者も、出席する運営委員会の開催となりました。

冒頭、東京オリンピックも開催され熱戦が繰り広げられる中、新型コロナの感染拡大が深刻な状況になっている現状下で、少年団では県外チームとの試合は中止、公式戦は現時点では中止の決定はされていない現状にあります。しかし、交流戦の計画だけは進めることにつき参加者に聞き了解を得ました。但し、8月末の時点で最終的に決定する事に致します。

参加するチームは、当初の予定からは、萩丘、芳川、和田チームが不参加になり、合計21チームが参加することになりました。

- ・交流戦の試合日程は9月～11月の第2、第4日曜日に開催をする。
- ・雨天中止の代替え日は、第3日曜日を除き、流すことも検討する。

交流戦の組み合わせについて検討する。

- ①2019年度のリーグ戦結果を基準に上位、下位チームに分け編成。
- ②グラウンド提供の地域ブロックでまとめる編成。

この2案で検討した結果、グループA.B及びグループC.Dチームをまとめ組み合わせする方法を進める事になりました。

交流戦の試合ルールについては、できるだけ多くの人に出場できる機会を与えるため現行ルールの、マーク制限を外して出場できる選手を多くする。しかし、仲良くプレーする為にガチなプレーはしないことを約束すること、で出席者の了解を得ました。

交流戦参加チームは以下の21チームです。

富塚、新津、鴨江、有玉積志、城北、東、大瀬、雄踏、篠原、都田、庄内、浜北、船越、葵西、砂丘、佐鳴台、芳川北、広沢、江南、付属、可美、

次回運営委員会において、組み合わせ案を提出する。

質問1. 今日提出するメンバー表に新規に追加はできるか？

A: 新メンバー表を次回の運営委員会に提出すれば良い。

質問2. 庄内チームは5人しか出場できないが、他チームとの合同では？

A: 試合会場に庄内チームに協力できる、他のチーム選手を加えて試合する。

- ・感染予防上、交流戦の試合会場には、登録選出だけしか入れません。